

防災・減災部門

応募事例名 ICT(FORViS)を活用したBCP訓練の実施！

～迅速な災害対応を目指して～

応募団体名)福岡市

下水処理場やポンプ場を一元的に監視するシステム『FORViS (フォルヴィス)』
を活用したBCP訓練を実施しました！

◆ FORViS (フォルヴィス) とは

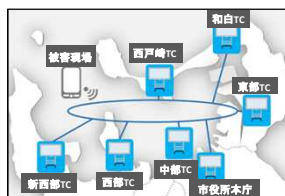
本市が構築したICTを活用した監視システムの総称で、稼働情報(ポンプ稼働状況、雨量情報)を一元的に監視し、迅速な情報収集を実現!!



施設監視システム(市全域)



施設監視システム(各施設)



遠隔コミュニケーションシステム

- ◎市内各施設の稼働状況が即座に確認可能!
- ◎本庁と各水処理センター間の情報共有が可能!
- ◎被害現場の状況を映像によりリアルタイムに確認可能!

◆ BCP訓練におけるICT(FORViS)の活用

[災害想定] 市内で最大震度6強が発生 ⇒ 各施設において設備故障など甚大な被害が発生(被害状況は事前に知らせないシナリオ非提示型)

- ・施設の稼働状況の確認、モバイル端末による被災状況のリアルタイム映像配信
- ・市役所本庁と市内6箇所の水処理センターを繋いだ緊急対策会議を実施



被害状況の映像配信



緊急対策会議



稼働状況・被害状況の共有

PRポイント

状況把握から報告にかかる時間を大幅に短縮・正確な情報共有

FORViSやモバイル端末の活用によって、施設の稼働状況確認や被害現場からのリアルタイムの情報伝達が可能となり、従来の電話連絡に比べ迅速かつ正確な情報共有に大きく寄与

適切な情報共有による効果的な災害対応

市役所本庁と市内6箇所の水処理センターを繋いだ緊急対策会議を実施し、刻々と変化する被害状況を常に共有することで、応援の要否など効率的かつ効果的な対策ができることを確認



道路下水道局下水道施設部長
管谷 悌治

施設の状況を迅速に把握できるICTとして、FORViSを構築しました。このシステムを毎年行っているBCP訓練(地震災害想定)で活用すると、情報共有の効率性・正確性が大きく向上するとともに、全施設がこれまで以上に臨場感をもって訓練することができました。また新たに感染症対策も踏まえた訓練としたことで、地元放送局5社に取材・報道していただけるという反響もあり、市民へ下水道事業の取り組みを大きくPRすることができました。

災害の備えとして日々の訓練はとても重要だと考えており、今後も新たな技術を活用し、より実践的な訓練になるよう取り組んでいきます。